

	桔梗が丘自治連合協議会 平成25年度 第11回 理 事 会 議 事 録
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成26年3月22日（土） 9：30～12：35
出 席 者	出席者・辻森、大垣、上田、武仲、鈴木、阪本、野邊、西宮、廣岡、竹原、吉野、加納、梅本、中村、山中、松村、田合監事、福森監事。森田地域担当監。 欠席者・河合。
議事 決議事項 1. 議事録署名人 2. 公用車管理規定（案）について	大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 辻森会長の挨拶の要旨 「平成25年度も終わりますが、一年間有難うございました。しかし我々の活動に終わりがありません。継続してまちづくり活動をしていかねばなりません。更に次年度からは、地域ビジョンプロジェクト事業も本格化してきます。尚一層のご協力をお願いします」と述べた。 辻森会長が議長となり会議が始まった。 自治連合協議会規約第46条第2項の規定により、議事録署名人に、鈴木健一氏、阪本忠士氏を選任し承認された。 大垣副会長（総務委員長）から、公用車管理規定（案）について、添付資料に基き概ね次のような提案説明があった。 「先月、理事会で承認をいただきましたが、特別目的積立金の車両買換積立金を使用して、3月7日、軽トラックを購入しました。自動車登録、任意保険等の諸手続きを経て、使用は3月16日からになります。購入金額は865,000円で登録諸費用を含んでいます。この他任意保険料が必要です。購入に伴って公用車管理規定を策定いたしますので、その案を資料として配布をしてあります。 <規定案の内容を読み上げた> 要旨：管理責任者は自治連合協議会会長とし、日常の管理担当者を事務局長とします。公用車を利用できるのは、協議会事業に携わる者、公民館職員、自治会長・区長が認めた桔梗が丘住民とします。 使用するときは、使用許可申請書の提出が必要です。使用料は協議会活動、公民館活動の場合は不用ですが、自治会長・区長が認めた桔梗が丘住民が使用するときは別途定めた使用料金を負担する事にします。 ここで使用料金の算出根拠について説明をします。

	車両購入価格、任意保険、車検等の諸費用合わせて10年間で約240万円となります。この金額を元に自治連合会の負担額を半額の120万円、利用回数を1800回と想定し、使用料金は1回につき700円、別途ガソリン代の負担は燃費から算出して1キロメートルにつき20円としたいと考えています。 その他、利用者の責務、保管場所を定めてあります。 この方法で一年間やってみたいと思っています。来年度末、課題等が見つかれば見直しをしたいと考えています。 辻森会長から、「自治会長、区長からの使用の申し出にあたっては、柔軟に対応をしたいと思っています」と述べた。 その他出席者からは特に質問は無く、議長は公用車管理運営規定の策定について採決をした結果、全員挙手し承認された。												
3. 平成25年度定時総会開催日について	大垣副会長から、平成26年度定時総会の開催日を5月17日（土）午後1時30分から開催します。本年度は評議員の改選にあたりますので、新旧の評議員さんに出席をいただきます。理事等の役員についても同様です。 出席者からは特に質問は無く、議長は、平成25年度定時総会の開催日について採決をした結果、全員挙手し承認された。												
報告事項	議長は、「引き続いて報告事項に移ります」と述べた。												
1. 平成26年度ゆめづくり協働事業交付金について	山中事務局長から、名張市の「平成26年度ゆめづくり協働事業交付金」の申請をしていましたが、3月14日、審査結果の通知があり3事業合計279万円交付が決定した旨、通知があった旨を述べた。 大垣副会長から、交付額決定の結果、協議会の負担は31万円となる旨報告があった。尚、平成25年度の協働事業交付金2事業で200万円は全て使い切る事になりますと、合わせて報告があった。												
2. 平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告（平成26年2月末）について	松村事務局次長から、平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告（平成26年2月末）について、別添え資料に基づき概ね次の様に報告があった。 ＜協議会会計＞ 収入の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>社協交付金</td><td>60,000円</td></tr> <tr> <td>社協補助金</td><td>20,000円</td></tr> <tr> <td>雑収入</td><td>20,558円（AED保証金戻し）</td></tr> <tr> <td>収入合計</td><td>100,558円</td></tr> </table> 支出の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>人件費</td><td>721,391円（職員給与、雇用保険）</td></tr> <tr> <td>総務費</td><td>134,923円（ビジョン新規事業他）</td></tr> </table>	社協交付金	60,000円	社協補助金	20,000円	雑収入	20,558円（AED保証金戻し）	収入合計	100,558円	人件費	721,391円（職員給与、雇用保険）	総務費	134,923円（ビジョン新規事業他）
社協交付金	60,000円												
社協補助金	20,000円												
雑収入	20,558円（AED保証金戻し）												
収入合計	100,558円												
人件費	721,391円（職員給与、雇用保険）												
総務費	134,923円（ビジョン新規事業他）												

企画運営費	8, 4 1 6 円
健康推進費	1 5, 0 0 0 円 (講習会費用)
住民交流費	△ 1 0, 4 5 4 円 (H. N. F. 戻し金)
地域福祉費	1 4, 8 0 0 円 (いきいきサロン)
支出合計	8 8 4, 0 7 6 円

2月末の収入累計23,987,350円から支出累計19,943,562円を控除した預金残高は4,043,788円、仮受金84,000円で、合計4,127,788円となっています。

<公民館会計>

収入の部 (主な科目のみ)

使用料	3 3 4, 8 9 8 円
雑収入	2 5 5 円 (預金利息)
収入合計	3 3 5, 1 5 3 円

支出の部 (主な科目のみ)

管理費 (消耗品費)	5 2, 6 1 4 円
〃 (光熱水費)	3 6 8, 8 2 6 円
〃 (修繕費)	6 8, 4 6 0 円 (AEDバッテリー)
〃 (電話費)	1 2, 4 7 3 円
〃 (委託・手数料)	1 5 5, 6 2 4 円 (エレベーター点検)
〃 (使用料等)	5 6, 4 9 3 円 (リース料等)
運営費 (報償費)	4 0, 0 0 0 円 (講師料)
〃 (事業費)	3, 0 1 2 円 (講座運営費)
支出合計	7 6 2, 6 2 7 円

2月末の収入累計16,565,859円から支出累計14,060,604円と、手持ち現金125,058円を控除した結果、預金残高は2,380,197円となっています」と述べた。

以上報告に対し、議長は出席者からの質問を求めた。

Q. 公民館会計の繰越金が多額になるようなら、計画的に支出計画を立ててはどうか

A. 残金から見て、昨年度の半分以下になる見通しです。多額にはならず、むしろ次年度の予算策定が厳しい状況です。

Q. 協議会会計の繰越金の目論見を含めて、3月の各部会の支出予定はどのようになっていますか。

A. 3月の主な支出は人件費が2ヶ月分、費用弁償費及ビジョン新規事業費、そして車両積立金20万円を予定しており、その結果、繰越金の額は200万円以下を予想しています。

・消費税のアップも視野に入れる必要がある。又緯費の節約の啓蒙もしていく必要があると思います。

・結論として、次年度以降は、両会計とも厳しくなっていくとの見方で一致し、そのため工夫を続けることとした。

3. 地域づくり代表者会議の報告	辻森会長から、3月20日に開催された地域づくり代表者会議の報告があった。 「事項書に記載された内、主なものを報告します。 1. 人権啓発チラシの回覧の依頼は、依頼文にあるような事例が伊賀市青山支所管内で発生したことに端を発しています。内容をご理解いただきご協力下さい。果たして、地区回覧のみで十分な効果が得られるかは、分かりませんが、協力お願いします。 2. 福祉まちづくりセンターについては、社会福祉協議会に委託をして、名張市元町のリバーナの3階に設置、運営をされるというものです。 設置の目的は名張市の総合的な地域福祉を推進のための諸問題に取り組んでいくものです。概要は配布した資料を参照して下さい。 3. 地域づくり団体全国研修交流会三重大会が行なわれます。名張市で開催される分科会について、現在、地域部で準備が進められています。 各地域づくり組織のヒヤリングの状況が資料に記載されていますので、ご覧下さい。当協議会でも出来るところで協力をしていきたいと考えています。 今後の進め方は資料に記載があります。準備はこれから本格化します」と述べた。 引き続き、森田地域担当監から、現在の準備、進捗状況について補足報告があった。
4. 平成26年度放課後子ども教室事業について	山中事務局長から、平成26年度放課後子ども教室事業について、別添え資料に基き概ね次のように報告があった。 「教育委員会文化生涯学習室より案内がありました。内容は地域内の小学生が放課後や週末に地域の施設を利用して、地域の住民の方々子どもたちと一緒に勉強やスポーツといった活動を行なうことで、子どもたちが心豊かに育まれる環境づくりを進める目的で、この活動に対し、事業運営の委託料として一定の金額を助成するというものです。 具体的には当協議会が手掛けている事業のうち、子どもたちが対象になっているものを、当該事業として申請する予定をしております。順次各事業部会と打ち合わせ、4月半ばに申請予定で進めてまいりますのでご協力下さい」と述べた。
5. 亀井名張市長へ要望書定提出について	辻森会長から、「先週の定例自治連合会です承され、3月17日に「要望書」を亀井名張市長に提出しました。 お手元に提出した要望書の資料がありますが、内容は桔梗が丘西地域から桔梗が丘一番町側間の道路建設（歩行者・自転車道路）に関するものです。 要望の理由は記載したように、子どもたちの安全な通学路の確保、高

	齢者が暮らしやすい生活道路の建設が不可欠といったことです。この要望は過去、平成10年、平成14年と2度に亘り出されておりますが、詳細な経緯は不明のままで、未だ実現をしておりません。具体的な建設方法までは決めていませんが、強力に進めたいと考えています」と述べた。 大垣副会長：「会長が述べられたこれまでの状況を踏まえ、今般、桔梗が丘西地域の方と相談の上、自治連合協議会として再度提出を決めたという経過です」と述べた。 辻森会長：「補足として、今後の取り組み方としては、名張市側の担当者を交えて4, 5月ごろに対策を検討していきたいと思っております」と述べた。
6. LED防犯灯設置基準(案)について	辻森会長から、「現在、各自治会・区で、それぞれに進めておられるLED防犯灯について、名張市危機管理室が作成している設置基準案をお手元に配布をしています。LED防犯灯設置並びに維持管理にあたっての参考にしていただければ良いと思って先日の自治連合会で配布をしました。特に⑤番の設置による居住者への照明の影響について、製造会社の説明書に詳しく記載されていますが、この内容をご理解いただき、地域住民の方にも周知いただきたいと考えています。 最近、一部の住民の方からも注意喚起の要望がありましたので、既に設置をされている自治会・区は留意いただきたいと思っています」と述べた。
7. 名張市消防団桔梗が丘班からのお願い	辻森会長から、「名張市消防団桔梗が丘班から、最近の活動報告として班会議の議事録の提出を受けました。主な内容は、班員はこれまで25人でしたが、継続活動の意思確認の結果10人が退団、新たに団員になられた方が6人で、最終現団員は21人体制となりました。したがって名張市消防団蔵持分団の桔梗が丘地域で2班体制を維持出来る事になりました。桔梗が丘班としては更に2, 3人の団員確保を希望しますので、募集に協力をします。 次に団員の方の名簿と組織図があります。我々も新年度の体制が決定した段階で自治連合会名簿の通知をします(連合会は了承済)。 次に消防団機械器具点検・訓練と、桔梗が丘地域にある防火水槽の確認を兼ねた作業を実施したいとの事でした。その日時は当該の地域住民の方に周知いただきたい旨申し出がありました。当該の地区には事前に回覧を行います。 こうした一連の作業は、日頃の消防団の活動をご理解、ご協力をいただきたいとの思いからのものです」と述べた。
8. 名張市立小・中学校の規模	辻森会長から、「名張市小中学校の規模・配置の適正化実施計画は平

配置の適正化実施計画について 9. 委員会・部会事業活動報告	成 2 2 年度から始まり、前期実施計画は平成 2 6 年度で終了です。 後期の実施計画の策定方針の中に桔梗が丘地区の 3 小学校が含まれています。この計画の、今後の進め方、今までの経緯について記載がありますので、確認をしておいてください。この件について、3 月 3 0 日上島教育長と面談し、意見交換をする予定になっています。 現在、我々は桔高の跡地利活用に注意と関心を向けていきたいと思っています」と述べた。 <総務委員会> 大垣副会長（総務委員長）から、「3 月 9 日、地域ビジョンプロジェクトチームの連絡会議を開きました。そこでは、協議会規約に基づくプロジェクト事業の位置付け、現在の事業の進捗状況、今後プロジェクト事業を進めていく上で連携していく事等を確認しました。 この会合で、定時総会に於ける平成 2 5 年度の事業報告は総務委員会が一括して行うことになりました」と述べた。 <企画運営委員会> 阪本企画運営委員長から、「只今、総務委員長から報告がありました 3 月 9 日のプロジェクトチームの連絡会議で 2 5 年度の事業報告と次年度の事業計画を作成する事を決定しました。各プロジェクトチームで作成して来月の自治連合会と理事会で報告を致します。尚、総会資料に取り上げる事項は総務委員会と相談の上決定いたします。 農楽園は本日ジャガイモの植え付けをします。これでうまくいけば、軌道に乗っていくのではないかと考えています。 お助けセンターの事業についての検討会議を民生委員さんを交えて開催しますが、詳細は来月の定例理事会で報告いたします」と述べた。 <広報委員会> 野邊広報委員長から、「報告の内容は資料に記載し、配布しておりますのでご覧下さい。6 月上旬にききょう通信 6 1 号を発行する予定で取り組みを始めています。内容は平成 2 6 年度の定時総会の報告が中心となります。その他の事項は資料記載の通りです。 平成 2 5 年度の事業の総括をしていますが、予算支出が当初の額を少し上回りそうですが、これはききょう通信の印刷会社倒産により、急遽変えたためです。平成 2 6 年度の予算額は本年度の 3 2 万円に対し、約 5 %アップ位になる予想しています。」と述べた。 <3 委員会の報告に対する質疑> 出席者からは特に質問はなかった。 <健康推進部会>
--	--

西宮健康推進部会長から、「3月29日（土）に本年度最後の事業であります「ニュースポーツ世代間交流大会」を、桔梗が丘小学校をお借りして開催します。参加予定は現在50人位ですが、最終的には少年野球チームが加わり70人位と予想しています。内容は前回報告した通りです。

次に、協働事業であります桔梗が丘体操会からの申し出がありました。体操時に使用しているカセットデッキが破損したので、購入のお願いがありました。費用は約2万円位ですので、予算的に無理がありませんので、ご了承いただきたいと思います」と述べた。

・大垣副会長から、体操会の備品購入を諮り、了承された。

<住民交流部会>

廣岡部会長から、「事業活動はありませんが、次年度の計画と、メンバー確保・確認を進めています」と述べた。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、「3月20日、部会を開催して本年度の反省会を致しました。

地域の回覧で部会員の募集をしましたが、2の方が新しく加わっていただくことが決定しました」と述べた。

議長は、以上3部会の報告に対する意見を求めたが、出席者からは特に意見は無く報告は了承された。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「3月16日（日）に名張市消防庁舎で普通救命講習会を実施しました。参加者は17人でした。当初は参加申し込みが少なかったのですが、2・3番町の区長さんの協力で増えました。皆さん熱心に取り組んでいただき、意義ある講習会となりました。今回で15回目、延べ285人の方が受講されました。次回は今年の10月を予定しています。募集範囲は4～8番町、南全域です。

青色回転灯のパトロールは5日、15日、20日に実施しました。いずれの回も異常は見られませんでした。以上報告します」と述べた。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、「次年度の事業で、まだ予算化されておりませんが、ゴーヤで緑のカーテン運動の一環として、4月29日ゴーヤの苗の配布を致します。時期的な都合で早くなりますが、ご了承いただ

きたいと思います」と述べた。

地域福祉部会＞

梅本地域福祉部会長からは特に報告事項はなかった。

議長は以上の３部会の報告について意見を求めたが、出席者からは特に意見は無く３部会の報告は了承された。

＜その他の報告事項＞

大垣副会長から、「５月１７日、定時総会終了後に恒例の理事会懇親会を開催します。詳細は改めて連絡します」と述べた。

中村公民館長から「桔梗が丘公民館の防犯体制について、公民館連絡協議会で、当館が考えている意見を述べました。名張市としても検討をしていくとのことでした。当館としては独自でも導入したいと考えていますが、市の動きも見守って行きたいと考えています」と述べた。

以上で会議は終了した。

次回理事会は、平成２６年４月２６日（土）

時 間 午前９時３０分より

場 所 桔梗が丘公民館 ２０２号室

議 長

辻森保蔵 

議事録署名人

鈴木健一 

議事録署名人

阪本忠士 

	副会長	副会長	総務委員長	書 記
				